高円宮杯全日本中学校英語弁論大会に出場して

日向市立岩脇中学校　黒木　ラウル

私は、英語が大好きです。でも、自分の気持ちや考えを文章で表現することが苦手です。コツコツ努力をすることも苦手です。今回、苦手なことから逃げたくない！このままじゃ何も変らない！自分を変えたい！という思から英語弁論大会へチャレンジすることを決めました。実際、とても苦戦しました。なかなか原稿を書くことが出来ず、「弁論出場をやめたい・・。」と弱音を吐いたこともありました。でも、家族や友達、担任の先生に励まされながら、「自分から逃げない！」と奮い立たせました。まわりの温かい応援とALTの先生や英語科の先生のご指導のもと、自分の出来る最大の努力をし、全国大会への切符を手に入れることが出来ました。県大会でトップ3に名前を呼ばれたときは、体が震えたことを今でも覚えています。

全国大会出場が決まってからの一ヵ月間、表情、声の大きさ、ジェスチャーや目線などを改善し、そして改めて自分自身の伝えたいことを考えました。そして、弁論を聞いてくださる人の為、私を支えてくれた家族や友達の為、一生懸命指導してくださった先生方の為、そして何より自分自身の為に努力を重ね、とうとう大会本番を迎えました。決勝予選大会は、私よりはるかに上手い生徒ばかりで「自分は英語が好きだ、得意だ。」と自信を持っていたことに対して恥ずかしくなり、また、少し弱気になってしまいました。様々な学校の生徒のスピーチを聞いて、自分の英語力はまだまだで、努力もまだまだ足りていないということを実感しました。でも、ここまで来たら最高のスピーチをするぞ！自身を鼓舞して全力を出しきりました。私がここまで頑張ることが出来たのも、周りの人たちが私を温かく応援してくださり、一緒に全国大会を目指して私に寄り添ってくださったおかげだと思っています。心から感謝の言葉を伝えたいと思います。

私にとって、今回の弁論大会は、様々なことを学ぶことができた大会でした。そして、自分の苦手なことを一つ一つ乗り越えることが出来たので自分自身を大きく成長させることのできた大会でした。

そして、私は帰りの飛行機の中で、今回の全ての大会を振り返りながら「絶対に来年、またここに帰ってくるぞ！」と自分自身に誓いました。

日向市立岩脇中学校　指導教諭　数　麻生子

県大会の会場で第六位から入賞者が発表されていき、ラウルくんの名前が呼ばれず、五位、四位・・・。「え・・！？まさか！」と、嬉しい方のまさかが的中した時には、嬉しさのあまり、私も観にきてくださった本校の校長先生も一瞬時が止まったことを覚えています。

今回の高円宮杯英語弁論大会へ向けて、周りの方々の温かい支えのおかげで、ラウルくんは自分の苦手なことに立ち向かい、大好きな英語を通してとても貴重な経験をさせていただきました。決勝大会に進むことは残念ながら出来ませんでしたが、彼自身が大会後に「自分のベストを出すことができました。」とすがすがしい笑顔で言ってくれたことに私自身も大変満足しています。また、決勝大会で他校の生徒さんたちのスピーチを聞くことができました。その経験は大変学びの多い時間となりました。

今回、校内オーディションから始まり、地区大会、県大会、そして全国大会の舞台でのスピーチする彼の姿や彼が一つ一つ大会をクリアしていくごとに成長する姿を隣で見守ることができ、英語教師として大変素晴らしい、そして貴重な経験をさせていただきました。この大会を通して、生徒共々成長させていただいたことに大変感謝しています。

今後もこの大会の舞台に立つことを多くの中学生と教師が共に目指し努力し続けることを願っています。そして、私自身もその一人として、また、この大会に生徒を引率することができるように、私自身の英語力、授業力の向上の為、日々学び続けていきたいと思います。